

Hugs

はぐす

創刊準備号 vol.0

鳥取県からのお知らせ あいサポート・アートとっとり展

本展

米子市美術館 (第1~4展示室)
2021年12月4日 (土) ~ 12日 (日)

中部巡回展

倉吉未来中心 (アトリウム・みらいアートギャラリー)
2022年1月7日 (金) ~ 13日 (木)

東部巡回展

鳥取県立博物館 (第1・2展示室)
2022年1月21日 (金) ~ 30日 (日)

Hugs 次号のお知らせ 2022年春発行予定

特集：認定第1号 ギャラリーからふる
コラム：Art +
知ろう著作権

Hugs 創刊準備号 vol.0
2021年12月4日発行

発行/あいサポート・アートセンター

〒682-0821 鳥取県倉吉市魚町2563
TEL: 0858-33-5151
FAX: 0858-33-4114
E-MAIL: info.artcenter@ncn-k.net
HP: <https://art-infocenter.jimdofree.com/>

編集 / 水田美世

デザイン / 森下真后

協力 / アートスペースからふる (ギャラリーからふる運営)

もみの木福祉会 (もみの木アートギャラリー運営)
あかり広場 (あかりアートギャラリー運営)
十人十色 (ごっつ ええがなあアートギャラリー運営)
鳥取県

Hugs (はぐす) は「鳥取県はーとふるアートギャラリー」の活動を中心に、障がいと共に生きるアーティスト達とそこにある世界を知っていただくためのフリーペーパーです。互いの表現や活動を全身で受け止めたいという思いを込めています。



▲「Uni-Voice」という目の不自由な方のための音声コードです。

私たち、Hugs はじめます！

4つのギャラリー紹介

ギャラリーからふる / もみの木アートギャラリー
あかりアートギャラリー / ごっつええがなあアートギャラリー

鳥取県はーとふるアートギャラリーってなに？

「Hug」という言葉には、愛情をもって抱きしめる、こだわりを守り続ける、自分自身を幸運だと思ふなどの意味があります。

このフリーペーパーHugsは、障がいと共に生きながら創作や表現活動をしている方々や施設を取材し、その活動の様子や日々の思い、そこから広がる豊かな世界を伝えていくことを目的にしています。



▲「Uni-Voice」という目の不自由な方のための音声コードです。

私たち、Hugs はじめます！

「鳥取県はーとふるアートギャラリー」は、現在、福祉事業所が運営するギャラリーがベースとなっています。Hugsのスタートにあたり、各事業所の担当者が日々の活動や今後の展望などを話しました。

※このテキストは2021年11月3日に実施された「ゆるり〜と〜く」で話されたことをもとに編集・構成しています。

妹尾恵依子さん



ギャラリーからふる

北村康弘さん



もみの木アートギャラリー

渡部美帆さん



あかりアートギャラリー

岸本美鈴さん



ごっつええがなアートギャラリー

Q.アート活動を始めたきっかけは？

妹尾:元々は私が個人で障がいの有無に関係のないアート教室を開いていました。障がいのある方々が大変面白い絵を描かれるので、皆さんのお仕事になったらとても素敵だと思い、2014年からは就労施設として活動しています。

北村:うちは25年くらい前に入所施設から始まっています。ある方がご家族の影響もあり画材を個人で持っておられて。自由時間に絵を描いていて、どんどん増えていくわけです。ちょうどその頃に奈良のたんぼの家さんから「エイブルアートフォーラム」に誘われて、その方の個展で参加しました。そこで初めて全国的な活動を目の当たりにして、アート活動を独立させることになりました。

渡部:以前勤めていた県外の施設でアート活動を行っていたこともあり、あかり広場

でもやりたいと思っていましたが、自分たちだけではなかなか場を設定できませんでした。いまアート活動をサポートしてもらっている水田美世さんと出会い、2016年から始めることが出来ました。

岸本:十人十色が立ち上がった2005年から廃材を使ったアート活動をしています。私が環境のことにもずっと関わってきたという背景もありますね。

Q.どんな活動をしていますか？

北村:うちはギャラリーとアトリエが一体になっていて、月～金曜日の平日と、月2回日曜日の午前中に開いています。人によって様々で、集中して1週間ずっと入っている方もあれば、違う作業に入ってしまったに来る方もいます。

渡部:週1回の午前中、自分が好きなことをする時間として設けています。絵を描く、

鳥取県はーとふるアートギャラリーってなに？

障がいのある方の文化芸術作品が多くの方の目に触れ、気軽に障がい者アートを楽しめるよう、作品発表の機会・場所を確保する制度です。障がいのある方の作品展示を積極的に行うアートギャラリーを2019年から県の認定ギャラリーとしています。

詩を書く、粘土や工作、お喋りしに来る、皆の様子を観ている…といろんな方がいますが、とにかく居心地の良い場を心掛けています。最近は活動から生まれた作品をもとに文具や布小物などを作り、活動周知のツールにしています。

妹尾:からふるでは毎日お仕事として作品制作が行われています。道具は必ず決まった場所に置き、ご自身で選んで出し、紙は最初に何枚必要ですかと聞いてお渡します。作品は自由に制作して、自分で終わりと思うまで制作してもらいます。絵画作品はオリジナルグッズの絵柄にしたり、企業や施設にレンタルして飾っていただいています。

岸本:生活介護の4人が活動の中心ですが、大きな作品作りでは他の部署からも総出で共同制作します。アートは心が育ちますね。それに機能回復もすごい。作りたという気持ちから体が動くようになる過程に毎回感激します。

Q.今後の展望は？

渡部:自分は何が好きで、どういうことが楽しいのかを追求する時間を継続していきたいです。そういう楽しさを通じて、最終

的には「世の中にはいろんな人がいる」ことを知ってもらうことに繋がりたいです。

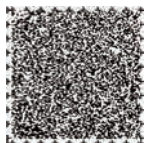
北村:県内で障がい者アートの理解がもっと進んでいくことを期待して、他施設とも連携しながら展開を考えたいです。

岸本:最寄りの「因幡社駅」から十人十色までの一帯を巻き込むアートプロジェクトを行って、特に地域の若い人と一緒にアートの村を作れたらと計画中です。

妹尾:私たちは彼らのことをアーティストだと思っています。アーティストとしての活動が充実していくような支援を今後も続けていきます。



福井将宏(コチョウラン)2021年©アートスペースからふる

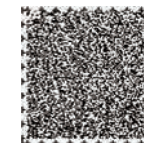


認定第1号
ギャラリーからふる
所在地：鳥取市元町 101
電話：0857-35-0191
HP：https://art-colorful.com/

認定第2号
もみの木アートギャラリー
所在地：米子市富益町 4660
電話：0859-28-8470
HP：https://www.mominokifukushikai.jp/

認定第3号
あかりアートギャラリー
所在地：米子市皆生温泉 2-2-8
電話：0859-35-0505
HP：https://akari-hiroba.jp/

認定第4号
ごっつええがなアートギャラリー
所在地：鳥取市用瀬町安蔵 1026-1
電話：0858-87-3770
HP：http://juuninnoiro.jp/



▲「Uni-Voice」という目の不自由な方のための音声コードです。

▲「Uni-Voice」という目の不自由な方のための音声コードです。